



裁判員等経験者との意見交換会 開催概要

長崎地方裁判所では、令和5年2月2日（木）に裁判員等経験者との意見交換会を開催しました。当日は裁判員等経験者5名にご参加いただき、法曹三者（裁判官2名・検察官・弁護士）との意見交換が行われました。その中で裁判員等経験者からいただいたご意見・ご感想を一部紹介いたします。

裁判員裁判に参加しての全般的な感想

★裁判は自分の人生において縁遠いものだったが、裁判員裁判に参加した後は、ニュースで流れる事件について、3Dのように浮かび上がって感じるようになった。

★裁判員に選ばれた時は、法律の知識も無く不安だったが、娘の応援を受けて、頑張ることができた。評議の時は大変緊張していたが、裁判官から緊張をほぐすような話を振ってもらったのでありがたかった。裁判員裁判に参加した後は、ニュースの見方が変わった。貴重な経験だった。

★裁判員裁判が始まったことは知っていたが、身近に感じたことがなかったので、裁判員選任手続など、1つ1つが勉強だと思って参加した。今まで犯罪について考えたことがなかったので、いい機会となった。

★まさか自分が裁判員になるとは思っておらず、不安でたまらなかったが、「自分の意見を言うことは貴重

な経験なので、胸を張って行きなさい。」と姉から後押しされた。裁判員を経験できたことを光栄に思う。

★裁判員に選ばれる前、裁判所から分厚い封筒が届いて衝撃が走った。その後、インターネットなどで情報収集を行い、段々と興味が湧いてきた。周りの人は裁判員はやりたくないと言っていたが、私はやりたいと思うようになった。

★裁判員に選ばれた時が一番どきどきした。今思うと、責任の重さを感じていたのかもしれない。裁判員裁判の時は、いろいろな人の意見を聞くことができて有益だった。裁判の仕組が分かったのも、人生においてよかったと思う。裁判員裁判に参加する機会を得ることができたことに感謝している。

審理の分かりやすさなど

★テレビドラマとは違って、実際の裁判員裁判の証拠調べは、やはりリアルだと思った。

★検察官と弁護士の説明は分かりやすく、専門的な内容についても理解することができた。弁護士は身振り手振りで説明されていたことが印象に残っている。

★証拠調べはある程度理解できた。評議の際は、さまざまな意見があったが、裁判員と裁判官が一緒になって話し合い、意見を一つにまとめていくことができた。

★裁判・評議の際に使用している言葉が分からなかったが、裁判官・検察官・弁護士が丁寧に説明してくれた。評議の際には、争点や論点がずれそうになると、裁判官が引き戻してくれた。

これから裁判員になれる方への メッセージ

★自分が事件の主演にならないためにも、チャンスがあれば、ぜひ参加してほしい。自分の人生においても、必要な経験だと思う。

★裁判員に選ばれたら不安になると思うが、自分の意見をきちんと言うことができるので、何も心配はいらない。すばらしい経験ができるので、ぜひ参加してほしい。

★自分の時は、たまたま仕事の調整ができたが、仕事との調整が難しい人もいると思う。ただ、仕事との調整がつくのであれば、いい経験になるので、ぜひ参加してみてもらいたい。

★最初は不安だと思うが、自分の意見を素直に言うことができ、また、他の人の意見も聞く経験ができるので、今後の自分の仕事などに生かすことができる。裁判員経験後はそのような行動が取れる自分になっていると思うので、ぜひ参加してもらいたい。

★裁判員裁判では、一つの事柄について皆で話し合うので、いろいろな他の人の意見を素直に聞けるし、自分の意見を言うことができる。自分の意見を言うということは、自分の考えに気づくことができるということなので、貴重な機会となった。ぜひ参加について前向きに考えてほしい。

ご参加いただいた皆様、
貴重なご意見をいただき
ありがとうございました！

